

現在、市教育委員会ではすでに策定されている展示基本計画をもとに、仮称「郷土博物館」（基本テーマ『川とみちの歴史と未来』）の開館準備を進めています。

博物館の建設が予定されている「文化の森」（蜂屋町上蜂屋）全体の実施設計も今年度中に作成されます。

博物館で常時展示される資料はほんの一握りですが、数多くの資料がその展示を裏付け、さえています。その意味で、館がオープンするまでの間に一点でも多くの資料を収集、整理しておくことが必要です。

収集された資料は、大きく歴史、民俗、考古、美術工芸、自然などに分けられ、将来の活用のために順次整理を行っています。



イ ズ ミ

す。

市民のみなさんのご理解によって、郷土の歴史や生活を物語るさまざまな資料が市教育委員会に寄せられています。

.....

今回は、次の方々から貴重な資料を寄贈いただきました。ありがとうございました。

（平成五年三月分）

○昭和史映像ビデオ 十二巻

（朝日亨さん／三和町）

○石鏃、金環など考古資料

三十二点

（日比野隆廣さん／中富町）

○自在かぎ 一点

（江崎九仁正さん／新池町）

○イズミ（おひつ保温器）

一点

（山口繁政さん／本郷町）

○高等小学校教科書など 二点

（朝日将登さん／三和町）

○坂井範一作絵画 一点

（小沼亮一さん／岐阜市）

○『岐阜県地理』（明治時代）

一冊

（藤掛義之さん／三和町）

○古書（『名古屋案内』）一冊

（朝日幸男さん／三和町）

資料は見せていただくだけでも結構です。市社会教育課博物館建設係（内線362）まで情報をお寄せください。